

## 編集後記

残念ながら南半球にほとんど縁がないわたしは、オーストラリアの大地を踏んだことはない。写真で見るキャンニング牛追いルートは、地平線までまっすぐに続く荒野の道である。そこを牛の群れがムウムウ、ドドドド、と銅色の土埃をあげながらひたすら進む光景を想像してみる。

企画展「ワンロード」に展示される作品の制作にかかわったFORMプロジェクトが提供するスマホのアプリ「One Road: Canning Stock Route Project」があることを知り、ダウンロードしてみた(240円、英語)。井戸や泉の位置とその状態に関する情報、名所や人びとにゆかりの物語、そしてアート作品と作家による解説をよび出すアイコンが地図上に配置されている。広大な大地に展開してきたさまざまな物語を手のひらのなかで見ることができてしまう、なんとも便利な時代である。そういえばこのルートは、ちょうど手のひらの生命線のようにオーストラリア大陸の西側を縦断している。

我が国では、また大きな地震が起きてしまった。しかも立て続けに、幾度も。復興の道のりは、一直線の「ワンロード」というわけには、到底いかないだろう。橋が落ち、崖が崩れ、線路が歪んで途切れてしまった生命線をつなぎ直すところから、生活の再建が始まっている。(山中由里子)

●表紙、2-9頁背景の図版：  
キャンニング牛追いルート北端を横切るドリーミングの道。5頁下図への重ね書き

## 次号の予告

特集

## 変貌する中央・北アジア

## 月刊みんぱく 2016年6月号

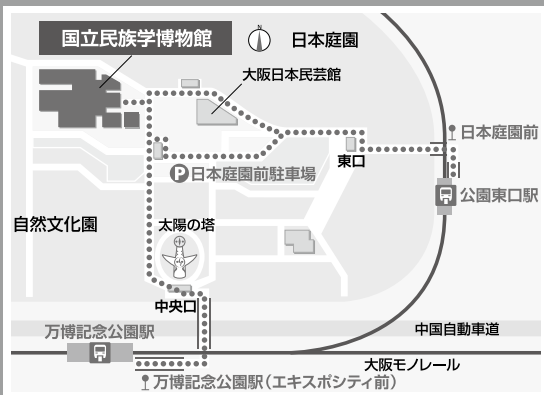
第40巻第6号通巻第465号 2016年6月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館  
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1  
電話 06-6876-2151

発行人 池谷和信  
編集委員 山中由里子(編集長) 河合洋尚 菅瀬晶子  
丹羽典生 南真木人 吉岡乾

デザイン 宮谷一孝 長岡綾子  
制作・協力 一般財団法人千里文化財団  
印刷 能登印刷株式会社

\*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係に  
お願いします。  
\*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



### 交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「万博記念公園駅(エキスポシティ前)」 「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんぱくフェイスブック

<http://www.facebook.com/MINPAKU.official/>

みんぱくツイッター

<http://twitter.com/MINPAKUofficial>



国立民族学博物館  
National Museum of Ethnology